

大会運営ガイドライン

〇はじめに

2020年春、世界的に流行した新型コロナウイルスの感染拡大により国民全員の行動が規制される事態となつて以来、国や自治体による緊急事態宣言発令、リモートワークや外出自粛はもとより、マスク着用、三密の回避、手指消毒はもはや日常的に遵守する行動となっています。

一部でワクチン接種が始まりましたが、いまだに変異種株の感染含め、再度の感染拡大が懸念されており、各大学の活動も規制されている状況です。

関東大学女子バスケットボール連盟としては、今後「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第3版」に則つて連盟としての感染拡大防止対策を講じ、大会を開催していきます。

ここでは、感染拡大を関東大学女子バスケットボール連盟の大会会場で拡げないと同時に大会運営に携わる方の安全に大会を運営していただくための指針を示します。

大会の開催にあたりまして、会場を提供していただくチームの皆様のみならず、参加されるチームの皆様のご協力は必須です。感染拡大防止を念頭に協力して大会を運営しましょう。

1. ガイドラインについて

1-1. ガイドラインの目的

- 大会運営にあたり新型コロナウイルス感染症への感染、および感染拡大を最大限防ぐ。
- その際、感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準を提示する。
- 感染が生じてしまった場合の適切な処置について提示する。

1-2. ガイドラインの適用範囲

- 大会に参加している選手・チームスタッフを含めたチーム
- 大会に参加している審判員、TOを含めたオフィシャルズ
- 大会の運営に関わる全てのスタッフ
- 来場する観客やメディアの方

ただし、審判員、メディア等、各部署において、本ガイドラインを基準にその分野に特化した独自の感染予防対策が必要であれば、下記に定める新型コロナウイルス感染症対策チームと連携をとり、各部署で適切に管理、対策を徹底することを認めるものとする。いかなる場合においても新型コロナウイルス感染症対策チームへの報告は怠らないように注意する必要がある。

1-3. 新型コロナウイルス感染症対策チーム

チームリーダー：吉田 明子（関東大学女子バスケットボール連盟 理事長）

チームメンバー：石原 明美（関東大学女子バスケットボール連盟 総務部長）

チームメンバー：川畑 敏之（関東大学女子バスケットボール連盟 総務副部長）
チームメンバー：小林 文隆（関東大学女子バスケットボール連盟 競技部長・審判副部長）
チームメンバー：木下 佳子（関東大学女子バスケットボール連盟 競技副部長）
チームメンバー：柴田 雅貴（関東大学女子バスケットボール連盟 競技副部長）
チームメンバー：斎藤 哲也（関東大学女子バスケットボール連盟 広報部長）
チームメンバー：加藤 敏弘（関東大学女子バスケットボール連盟 広報副部長）
チームメンバー：嶋崎 貴（関東大学女子バスケットボール連盟 審判部長）

感染症対策における重要な項目を大会運営や連盟活動内で実施する場合は、本感染対策チーム内で審議した上で、関東大学女子バスケットボール連盟理事会の決議によって決定します。

試合運営および実施に関わる重要な項目以外は、本チームリーダーの判断で実施することを可能とします。しかし関連部署との連携に配慮して実施していくこととします。

2.大会運営について

2-1 事前の対応

関東大学女子バスケットボール連盟（以下関東女子学連）は、会場において感染対策に向けた準備を行うと共に、参加チームに対して感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力をお願いします。当連盟は感染対策チームを設置し、そのチームを中心に、各部署や学生役員と事前・事業実施中・事後に互いが連絡を取り合える環境を構築していきます。

2-2 会場への移動

県内・県外の移動については、政府あるいは各自治体の方針に従うが、いかなる移動手段においても、ソーシャル・ディスタンスに留意し、マスク着用の徹底、3密を回避して移動してください。

2-3 参加者への連絡事項

関東女子学連は参加予定チームや参加者、運営に関わる役員、会場スタッフ、その他関係者全員に対して、以下の項目を大会開催前に伝達いたします。

- ① 以下の事項に該当する場合、自主的に参加を見合わせてください（大会当日にチェックリストにて確認）。
 - ・体調が良くない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 大会等参加者全員のマスク着用
- ③ 関東女子学連が示す注意事項の遵守
- ④ 試合終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告
- ⑤ 大会実施中は可能な限り行動記録を記載（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます）

2-4. 監督会議/代表者会議

監督会議/代表者会議を事前にオンラインで開催し、大会運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目をお伝えします。

- ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ・ 両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- ・ 円陣はしない。
- ・ 倒れた選手に手を貸さない。
- ・ ハイタッチ、抱擁を行わない。
- ・ 咳エチケットを守ること。
- ・ ボトルを共有しないこと。
- ・ タオルを共有しないこと。
- ・ コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮すること。
- ・ ベンチではマスクを着用し、会話を控えること。

2-5 会場における感染対策

- ・ マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保、基本的な衛生エチケットの徹底。
 - ・ 審判や大会役員、会場ボランティア(フロアワイパー等)はマスク等の顔を覆うものを着用することが望ましい。
 - ・ 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、参加者/選手、コーチ、審判は頻繁に手洗いを実施する。
 - ・ ボールやその他の備品も頻繁に消毒すべきである。
- ※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があると言われております。詳しくはお使いの各ボールメーカーの「お手入れ方法」に従って下さい。
- ・ 審判は笛の代わりに、電子ホイッスルを使用しても良い。
 - ・ 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等の接触は避ける。

2-6 諸室等

大会で使用する諸室等において、以下の対応を行います。

- ・ 各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- ・ 全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・ ドリンクを冷やすためのアイスボックス・イベントクーラーは使用しない。
- ・ 座席を設置する際に前後左右 1.5~2m 間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。

2-7 手洗い場所

大会参加者や関係者が手洗いをこまめに行えるよう、以下の対応を行います。

- ・手洗い場にはポンプ式の液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。
（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。）
- ・アルコール消毒液を設置する。

2-8 トイレ

トイレについても感染リスクが比較的高いと考えられることから、以下の対応を行います。

- ・便器のふたを閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・手洗い場にはポンプ式の液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは 30 秒以上」等の啓示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。
（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。）

2-9 更衣室・ロッカールーム

大会で更衣室やロッカールームを使用する場合、感染リスクが比較的高くなります。

以下の準備を行います。

- ・広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する。
- ・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については使用者が消毒する。
- ・換気扇を常に回す、更衣室使用後は使用者が 2 つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行い、関東女子学連が確認する。

※更衣室利用者の注意事項

- ・利用者はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・利用者はシャワーを交代で使用し、密集を避ける。

2-10 審判控室

以下の準備を行います。

- ・広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける。
- ・室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手、テーブル、イスなど）について使用者が消毒する。
- ・審判員は換気扇を常に回す、2 つ以上のドア、窓を開放して常時換気をするよう心がける。
- ・貴重品の管理には注意する。

※審判員の注意事項

- ・ 審判員はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・ 審判員はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・ 審判員はシャワーを交代で使用し、密集を避ける。
 - ・ 審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

2-11 サイドライン/ベンチ

同会場で複数試合を行う場合は、試合終了毎にチームでベンチの消毒を行います。

以下の対応に留意し、準備します。

- ・ サイドライン/ベンチにおいても適切なソーシャル・ディスタンスを試合中に確保しなくてはならない
- ・ 床にマークなどをつける事で、選手やコーチのソーシャル・ディスタンスを保つ事を促す。

2-12 来場者対応

観客を入れる、又は限定的に入れる判断は、開催自治体の方針、体育館の状況に従って決定します。

2-13 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートを、保存期間（少なくとも3ヶ月）を明記した上で保存します。

また、試合終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局と予め検討しておきます。

2-14 用意するもの

1) 受付

- ① 入場時・退場時に読み取ってもらう QR コード
- ② 手指消毒液
- ③ 来場者名簿
- ④ フェイスシールド
- ⑤ 使い捨て手袋
- ⑥ 体温計

2) 手洗い場・トイレ

- ① ポンプ式の石鹸
- ② ペーパータオル
- ③ 専用ゴミ箱（ビニール袋可）
- ④ 手指消毒液

3) 更衣室

- ① 手指消毒液
- ② ドアノブなど拭くための消毒液
- ③ 雑巾
- ④ 使い捨て手袋

4) コート

4-1) TO席

- ① 手指消毒液
- ② ラップ
- ③ テーブルなどの消毒液
- ④ 雑巾

4-2) ベンチ

- ① 手指消毒液
- ② 椅子などの備品の消毒液
- ③ 雑巾
- ④ 使い捨て手袋

○ (白丸数字) : 関東大学女子バスケットボール連盟が用意するもの

● (黒丸数字) : 各チームが用意するもの